



つぼみ保育園年報 第7号

2003年(平成15年)11月17日発行

発行/編集

社会福祉法人 輔仁会 つぼみ保育園

〒813-0044 福岡市東区千早1-18-24

[TEL] 092-681-4782 [FAX] 092-681-4780

[E-mail] tsubomi@nifty.com

[HP] http://homepage2.nifty.com/tsubomi/

トピックス

■ 涼しくお昼寝

今年はずめ、さくら1のお部屋にクーラーが入りました。これで乳児棟全部とホールにクーラーが入り、夏の暑い日はみんな涼しくお昼寝をしています。

■ ご寄贈に感謝

父母の会より、平成14年度の在園記念品として平太鼓2台を寄贈していただき、友愛セール収益事業としてスポットライトをいただきました。発表会では子どもたちの舞台や父母の会の劇をより一層効果的に盛り上げています。ありがとうございます。

■ 行事について

行事も時代とともにやり方も変化してきました。子育ての心は今も昔も変わりませんが、子どもをとりまく環境は大きく変化しています。子どもを中心に保護者と保育園が一緒になって、育ちを支え合っていると思います。

その1 親子遠足

以前は歓迎遠足とお別れ遠足の二回実施、バスに乗って、海の中道海浜公園や太宰府天満宮へ行っていました。

現在は歩いて行ける「みなと百年公園」です。(城浜小学校近くで名島の海岸の埋め立て地)

三才未満児の親子と三才以上児の保護者は現地集合、三才以上の子と達保護者からお友だちと保育士とで歩いていくとお母さん達が拍手で迎えて下さいます。

広場ではみんなでゲームやダンスを楽しんだ後はクラス対抗の大縄飛び大会1チーム大人10人、選手団にも応援団にも熱が入ります。クラス毎にお弁当を食べ保護者同士の親睦も深まっています。

ムやダンスを楽しんだ後はクラス対抗の大縄飛び大会1チーム大人10人、選手団にも応援団にも熱が入ります。クラス毎にお弁当を食べ保護者同士の親睦も深まっています。親子で触れ合ってたくさん遊び、体も心も大満足し、また、バス代の経費もかからずの楽しい遠足となっています。

果たしてどうだったのだろうかといふこと。盛り沢山なところがあり全体的に時間がかかりすぎることも。十分に検討を重ねた結果、取りやめました。昨年、今年とやってみて運動会までの練習時間全体も短縮することができました。また、演目一つ一つに余裕がありました。職員も子ども達もゆとりをもつて運動会にのぞむことができた、私たちは大成功だったと思っています。

人の組対抗綱引きやリレー、来賓祖父母、卒園児等々、沢山の方々に参加して楽しんでいただいています。どうぞ、皆様お越し下さい



主任 大久保雅子

経営基盤強化を目指し

社会福祉法人 馥薈会と輔仁会が合併
つぼみ保育園 さわらび保育園

社会福祉法人 輔仁会として再出発
つぼみ保育園+さわらび保育園

「つぼみ保育園」は「馥薈会(フクライカイ)」という社会福祉法人が経営をしてきました。

田に保育園を開業して欲しいとの福岡市の要請があった時、本来であれば、「馥薈会」がこの新園も開設して経営すればよかったのですが、当時、保育園は「法人一施設が好ましい」との指導があったため、この園

は「輔仁会(ホジンカイ)」という社会福祉法人により経営されています。両園とも大浦仁子(つぼみ保育園初代園長)が設立者ということもあり、密接な関係を持ってはいたのですが法的には全く独立した関係でした。

で、新しく「輔仁会」を設立し「さわらび保育園」を開園致しました。最近になり、市の指導も緩和され、「法人多施設」の経営が許されるようになっていきました。以前から、それぞれの法人において、理事会、予算決算、財産登記など



園長 大浦純平

社会福祉法人 輔仁会 開始貸借対照表 平成15年4月1日 現在			
資産の部		負債の部	
科 目	合 計	科 目	合 計
流動資産	100,522,784	流動負債	17,018,491
固定資産	363,804,444	固定負債	9,000,000
		負債の部合計	26,018,491
		基本金	116,888,948
		国庫補助金等特別積立金	143,660,190
		その他の積立金	77,000,000
		次期繰越活動収支差額	100,759,599
		純資産の部合計	438,308,737
資産の部合計	464,327,228	負債及び純資産の部合計	464,327,228

未来へ想う

父母の会会長 副島 克己



仕事上、昨年は大きな節目の年となりました。「経済の基盤である物流が、すでに減少トレンドとなり、少子高齢化による人口減も2006年をピークに始まる。」との公表がされたのです。つまり今が日本のピークで、無茶なツケを子供たちに残しても、払う事は出来ないわけです。ほんの10年前には、右肩上がりの「バラ色の未来」を思い、つい最近まで考えを変えなかった私にとって、転機の年となりました。

一方、つぼみ保育園に我が子を迎えに行くと、子供達がいっぱい、仲良く遊んでいて、お迎えに来ている、お父さんお母さんも若くて、私の未来への思いは、すっかり10年前に戻るようになります。

また、今年は、父母の会の会長を務めさせていただいているため、いっそう元気な子供達の顔を見る機会が多く、バワフルなお母さん、

お父さん方と一緒に、毎日、楽しく通わせてもらっている次第です。私自身の、この10年は、親にもなり、未来のことを思う気持ちが強くなりました。出来る事は少ないですが、面倒がらずに子供と接し、楽しく子育てが出来れば、未来はふくらんでいくものと信じています。

さて、来年には、つぼみ保育園が、めでたく創立40周年を迎えます。先輩諸氏の築いてこられた足跡を確かめ、さらに10年後へとつなげるため、父母の会では、30周年に続き、周年記念事業を行いたいと考えています。具体的な内容や進め方については、今後、皆様方と相談しながら進めて行きたいと考えています。その節はどうぞよろしくお願い致します。

最後になりましたが、今後も、父母の会活動に深いご理解と、温かいご支援をお願いいたします。

行事

平成15年度

4月5日	新年度説明会
4月19日	親子歓迎遠足
6月1日	端午の節句
6月24日	父母の会総会
6月30日	健康診断
7月4日	七夕まつり
7月20日	プール開き
8月25日	サマーパーティ
8月29日	誕生会
9月5日	誕生会
9月27日	運動会
10月3日	誕生会
10月23日	リトミック発表会
11月7日	敬老の集い
11月15日	健康診断
11月29日	友愛セール
12月5日	影絵劇場(一般公開)
12月13日	作品展
12月19日	親子保育
12月25日	誕生会
1月6日	もちつき
1月13日	鏡開き
1月19日	誕生会
1月25日	たんば音楽会(青組) 於サンパレス
2月3日	まめまき
2月6日	誕生会
2月13日	発表会
2月20日	桃の節句
3月5日	誕生会
3月9日	遠足(年長)
3月16日	遠足(年少)
3月20日	卒園式
3月26日	入園式(新園児)



Y. Fujii

■■■■■ 新築山の造成が始まりました ■■■■■

園庭の片隅にあった築山(つきやま)は平成5年に、土管の中古を譲り受け、お父さん有志のご協力をいただいて造りました。当時、「トンネル山」と名前をつけたのですが、その内、年一度の土盛りのお手伝いをいただくお父さん方に敬意を払い「おやじ山」と改称しました。

長年使っているうち、アーもしたい、コーもしたいと夢だけはふくらむものの実行にまでは至りませんでした。ところが、昨年、京都に研修に行ったときある保育園の園庭で見かけた築山に感動し、矢も盾もたまず、今年度の予算に計上してプランを練りはじめました。三方から出入りするトンネル、子ども達の隠れ家になるたて穴、ロッククライミングのホールドを付けた壁など、多くの注文を付けながら設計をしてもらい、やっと11月中旬に着工することができました。子ども達が楽しく遊ぶ姿が目に見え、完成を心待ちにしています。

【園長】

受賞 塩見昭彦



平成15年度
会長 副島克己



平成13～14年度
会長 塩見昭彦



平成11～12年度
会長 湊 敬文



平成9～10年度
会長 永島和仁



平成7～8年度
会長 中島助義

四〇周年準備委員会
設立呼びかけ人一同

40周年事業に向け 意見交換会を開催

員会」が父母の会OBを中
心に立ち上げられ、黒木実
行委員長以下諸先輩方の熱
心な準備の甲斐あり多くの
皆様のご協力、ご賛同を得
て募金集め、記念パーティ
「福岡サンパルク」記念誌発
行、また職員の皆様による
影絵公演「九電水」など
表が集まり、40周年記念事
業に「在に至っています。

業についてどのように取り組
むかの最初の意見交換会を
開催しました。
そもそも40周年記念事
業を行うのかどうか？行っ
とすれば、どいつが主体で
どのような内容で行うのか
について急遽の意見が出
され、概ね以下のような方
向性が確認されました。

一、平成16年度中に40周
年記念事業を実施

二、主催は実行委員会形
式をとる

三、実行委員会を招集
開催するための準備組
織として30周年以後の
父母の会役員を中心に
準備委員会をつくり、
準備にあたる。

内容については、30周年
時とは社会情勢も異なり、
そのまま踏襲することは難
しいにしても、記念式典
（パーティ）を中心に、募金
集め、記念誌の発行などを
できる範囲で行うというこ
とで大枠で意見の一致を
みました。

宝楽エチ子 先生

昭和50年9月
～
平成2年11月

主に乳児を担当
し、手作りの離乳食
で赤ちゃんはみんな
大きくなりました。
また、園児のお母
さんや若い保育士た
ちのお母さんの存在
で頼りにし、暖かい
励ましの言葉で勇気
づけられた思い出を
お持ちの方も多いと
思います。

現在は名島にお住
まいで、遠くに居る
2人のお孫さんのよ
きお婆ちゃんです。

大脇 治樹 先生

昭和60年4月
～
平成3年3月

女性ばかりの職場
に仲間として迎え入
れた男性保育士でし
た。
いろいろな面で戸惑
いもありましたが子
ども達とダイナミッ
クに遊びまわり、人
気者でした。
また、勤務時間が
おわると苦手なピア
ノの練習も毎日行い
頑張屋の彼でした。
現在は一人娘の立
派なお父さんになっ
ています。

先生みたくに踊ったりして
んだ。想像できないね」と
声をかけてきた。そうだよ
。と返事をしながら、当時
のことを思い出していた。
私が子どもに関わる仕事
を始めて19年目になる。そ
の夕べが「おぼろ保育園」
である。当時は男性保育者
の存在は少なかった。園長先
生をはじめ、先輩の先生方
の不安は安に察することが
出来るが、私自身も毎日
不安でいっぱいだったこと
を思い出す。

保父でしか出来ないタイ
ナミックな関わりに加え、保
母としての細やかな配慮も
必要とされ戸惑うことも
多かった。その中でも一番苦
労したのはピアノだった。ピ
アノ、ピアノの毎日だった。
残つて練習をするけれど、も
も、弾けないそんな伴奏で子
どもたちは歌を唄いリト
ミックをしていたのだから
、凄いや！と同時に少々申し
ない気持ちにもなってきた。
私は現在、鹿児島県にある
児童養護施設で個別対応
職員として働いている。最近
は子どもとその家庭を取り
巻く問題が多様化してお
り、苦しむ親と子どもが増
えてきている。虐待を受けて
きた子ども、不登校の子ど
もを預かり、共に生活し援
助して行く傍ら、家庭を修
復するために親に対する援
助や助言を行っている。
あんなに苦勞したピアノ
だが、時々無性に弾きた
くなることもある。ピアノの
前に座ると就学前の子ども
たちが集まってくる。ちょっ
とリトミックでも、なんて
なりピアノを弾き始めると
子どもたちが楽しそうに
ステップを踏み始める。クマ
になったり、ウサギになった
り、うほみと同じ時間を今
も過ごしている。

当時の子どもたちから今
も手紙やはがきが届く。最
近はメールを送ってくる子
もいる。段々大人になってい
く姿が、その文章から伝わ
てきて嬉しみに限りである。
次へ。育ててもらった様に
思います。
今も、これからもずっと保
育士であり続けたいと願っ
ています。

お久しぶりです 懐かしの保育士登場



【宝楽】

季節は紛れもなく秋へと
向かっていますが、今年の夏
はからりと晴れた日は少な
く鉢植えはともかく庭の草
花に水かけする事もなく過
ごしました。
異常気象なのか、ある地は
干ばつある地は洪水と、災
害が起きているようです。
又、この頃の社会状況をみ
ても事故や犯罪が増え、心の
晴れる間がありません。特に
危惧しているひとつに少年
の犯罪があります。事件を見
聞きする度に心が痛みま
す。

中には特別な事情がある
人もいると思いますが人は
生まれながらに親や大人に
季節は紛れもなく秋へと
向かっていますが、今年の夏
はからりと晴れた日は少な
く鉢植えはともかく庭の草
花に水かけする事もなく過
ごしました。
異常気象なのか、ある地は
干ばつある地は洪水と、災
害が起きているようです。
又、この頃の社会状況をみ
ても事故や犯罪が増え、心の
晴れる間がありません。特に
危惧しているひとつに少年
の犯罪があります。事件を見
聞きする度に心が痛みま
す。

健康かな子ども育成の条
件として親と社会の意識を
改めていくことが必要と指
摘
私達は通常、身を持って教
えることを惜しんではいけ
ないと頭では分かっています。
心にゆとりを取り戻し、
心の豊かさを持ち続けた
いと願うひとりで。

昨年、十年ぶりに「つばみ
保育園」の運動会に家族で出
かけた。
一生懸命走ったり、ダンス
をしたりする子どもたちや
先生方の中に、男性の保育
士さんの姿を見つけた娘が、
「お父さんも昔は保育士さん
をしてたんだよね。あの男の
ミックスをしたのだから、
凄いや！と同時に少々申し
ない気持ちにもなってきた。
私は現在、鹿児島県にある
児童養護施設で個別対応
職員として働いている。最近
は子どもとその家庭を取り
巻く問題が多様化してお
り、苦しむ親と子どもが増
えてきている。虐待を受けて
きた子ども、不登校の子ど
もを預かり、共に生活し援
助して行く傍ら、家庭を修
復するために親に対する援
助や助言を行っている。
あんなに苦勞したピアノ
だが、時々無性に弾きた
くなることもある。ピアノの
前に座ると就学前の子ども
たちが集まってくる。ちょっ
とリトミックでも、なんて
なりピアノを弾き始めると
子どもたちが楽しそうに
ステップを踏み始める。クマ
になったり、ウサギになった
り、うほみと同じ時間を今
も過ごしている。

【大脇】

平成15年度 職員構成 (10月1日現在 42名)

園長 大浦 純平

主任 大久保 雅子

事務/音楽 大浦まゆみ

年少主任 田村 明子

もも組 吉澤 利恵美
々々 車田 桃子
々々 野田 美和子
々々 林 裕子
々々 野田 百合子
々々 福澤 佳子
々々 岩永 松枝
々々 小西 真弓
々々 白川 睦実
うめ組 岡崎 久美子
々々 柳池 ひとみ
々々 矢野 省子
々々 阿部 俊子
々々 野中 智子

さくら1組 林 郁子
々々 白石 晴美
々々 堺 千保
々々 中村 展子
々々 松本 由紀子
さくら2組 小田 晃子
々々 小早川 結美
々々 緒方 愛
々々 藤井 由理
々々 相部 共美

年長主任 三笠 良子

すみれ組 宮川 仁美
れんげ組 山野 亜希子
つくし組 白井 顕子
わらび組 猿渡 健一

栄養士 森 千春
々々 岩崎 真樹
調理員 平石 律子
々々 中島 愛子
々々 山田 玲子

事務員 梅嶋 聡子

用務員 中島 涼子

育児休業 西村 美香

々々 中岡 千晶

平成15年度 父母の会役員

会長 副島 克己 (わらび)

副会長 伊集院 直親 (れんげ)
々々 阿部 真由美 (すみれ)

会計 東岡 裕美枝 (すみれ)
々々 小倉 和子 (さくら)

書記 永嶋 明子 (すみれ)
々々 中山 恵美子 (さくら)

委員 根 恵子 (もも)
々々 山本 倫子 (うめ)
々々 嶋津 真由美 (うめ)
々々 井上 尚子 (うめ)
々々 本村 絹代 (さくら)
々々 尾嶋 梢 (さくら)
々々 出木場 麻由美 (さくら)
々々 鎌田 康司 (すみれ)
々々 大橋 多恵子 (れんげ)
々々 秦 由美 (れんげ)
々々 白 勇 (つくし)
々々 永留 清治 (わらび)
々々 瀬上 歩 (わらび)

監査 田原 美香 (れんげ)
々々 田淵 薫 (れんげ)